

指定管理施設の管理運営状況のまとめ(令和5年度分)

施設名 松江市精神障害者地域生活支援センター(アクティヴきたほり)
 指定管理者 特定非営利活動法人ころこ
 担当課 障がい者福祉課
 指定期間 令和5年4月1日～令和6年3月31日

1. 総合評価

B	<p>【優れていると評価した点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者からの日常的相談への対応に努めている点 ・医療や地域との連携を図っている点 ・定期的な防災勉強会の開催や避難訓練の実施等、火災や地震に対する備えを行った点 <p>【課題、改善点等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・必要な職員体制を確保したうえで、安定したサービスを継続して提供できるよう、留意すること
---	--

2. 施設利用の増減について

近年は利用者数が減少していたが、令和5年度は目標としていた地域活動支援センター(I型)の基準である1日あたり概ね20人以上に回復した。

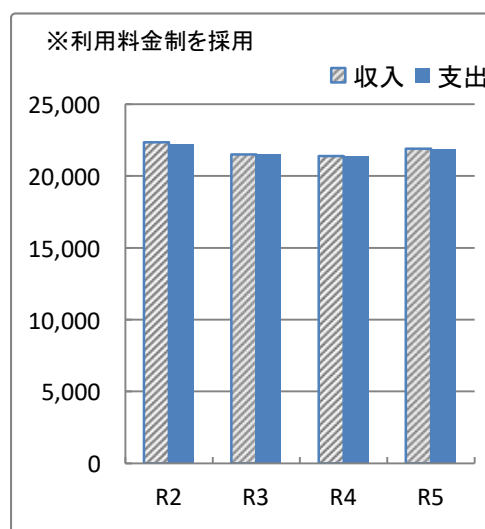
(1) 収支状況の推移 (自主事業を除く)

(千円)

項目\年度		R2	R3	R4	R5
施設の収支	収入	22,331	21,497	21,377	21,903
	うち指定管理料	21,046	21,200	21,339	21,901
	うち利用料	0	0	0	0
	支出	22,194	21,497	21,377	21,903
	差引	137	0	0	0

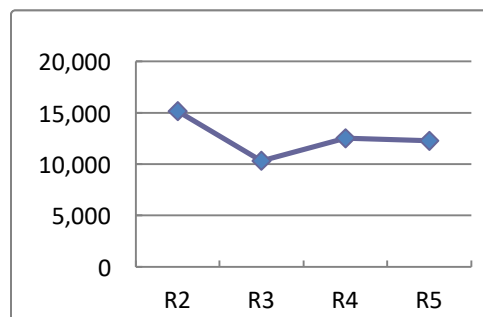
上記以外の市の収入、支出

市の収支	収入(使用料)	0	0	0	0
	支出	704	151	399	455
	うち市の修繕費	105	53	0	0



(2) 利用者の推移

	R2	R3	R4	R5
(人)	15,150	10,323	12,516	12,273



(3) 利用者アンケート

回答数	施設職員の対応・態度等、施設管理やサービスについて	主な意見
0	-	-

3. 自主事業

評価	「松江市精神障がい者家族会協議会」の事務局として、日ごろから役員の方々と現状報告や話し合いを重ねながら運営することができた。
実施状況	<p>コロナの影響もあったものの、4年ぶりに交流会を開催したり、フットサルの練習を再開することができた。また、講演会への参加やSST勉強会を実施した。</p> <p>※SST(ソーシャルスキルトレーニング) 「生活技能」や「社会技能」などと訳され、対人関係や社会生活を営むために必要な技能を身に付ける訓練</p>

4. 評価項目及びその評価

評価項目	市評価
利用者の意見を取り入れ管理運営を改善していたか	B
地域活動支援センター I 型に関する業務 創作的活動などの機会を提供し地域交流の促進を図ることに加え、医療・福祉及び地域との連携強化等を適切に実施したか	A
障がい者相談支援に関する業務 福祉サービスに係る情報提供・助言等必要な支援を行うとともに、権利擁護のために必要な援助等を適切に実施したか	A
広報活動	B
当初提出した収支計画に基づき、効率的な管理運営が図られたか	B
業務委託した場合、その委託の範囲は適切か	A
事業計画を実行するために適当な組織・人員配置が練られていたか	A
管理責任者は適切な人選がなされていたか、計画実行のための有資格者(経験者)が確保されていたか	A
利用者の安全対策(平常時・緊急時)についての研修等が十分に確保されていたか	B
個人情報の保護についての研修等が十分に確保されていたか	B
災害等に備えた計画(被害の拡大防止措置など)が検討され、利用者の安全が十分検討されていたか	A
緊急時の対応策が十分考えられており、緊急時の責任者や連絡体制が明確にされていたか	A
清掃業務	B
機械設備等の保守点検	B
草刈・植栽管理、外構等施設周辺の管理	B
松江市への報告	B
労働安全衛生	A
施設の巡視	A
職員のマナー(服装・電話・窓口)	B
備品の管理	B